

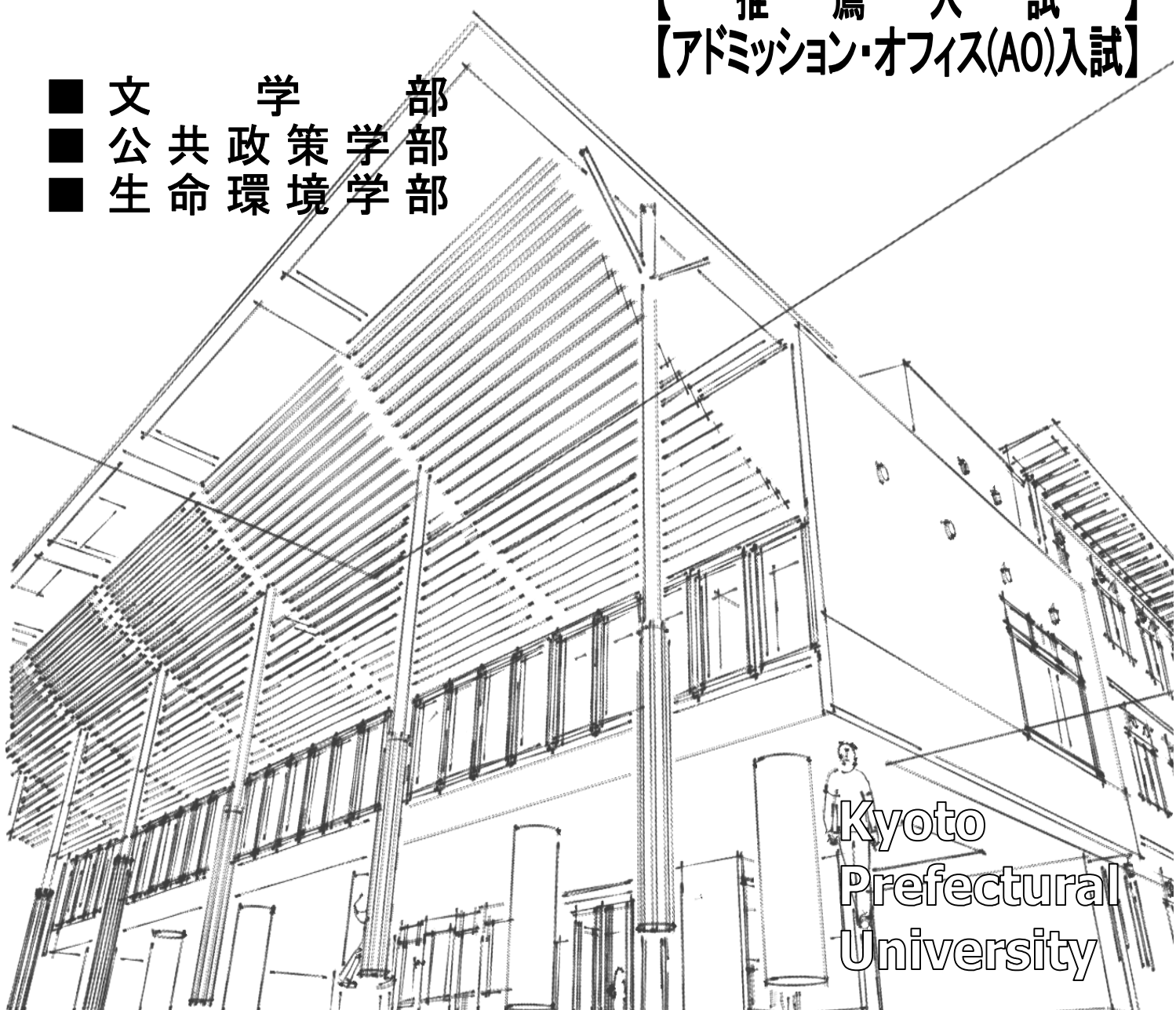
# 京 都 府 立 大 学

平 成 2 3 年 度

特 別 選 拔 学 生 募 集 要 項

【 推 薦 入 試 】  
【 アドミッション・オフィス(AO)入試 】

■ 文 学 部  
■ 公 共 政 策 学 部  
■ 生 命 環 境 学 部



Kyoto  
Prefectural  
University

# 目 次

◎ 平成23年度京都府立大学特別選抜学生募集要項	
アドミッション・ポリシー	1
1 特別選抜の概要	5
2 推薦入試の出願資格及び選抜方法	6
3 A○入試の出願資格及び選抜方法	7
4 推薦入試の推薦条件	8
5 特別選抜試験 実施会場及び日時	9
6 特別選抜試験 出願手続	10
7 特別選抜試験 入学手続等	12
◎ 添付書類	
○ 推薦書（推薦入試用）	
○ 志望理由書（生命分子化学科、農学生命科学科、 環境デザイン学科及び森林科学科推薦入試志願者用）	
○ 入学願書等＜A票～E票＞（推薦入試用）	
○ 入学願書等＜A票～E票＞（A○入試用）	
○ 出願用封筒（推薦入試・A○入試兼用）	
◎ 参考資料	
入学者状況（過去5ヵ年）	
試験場案内	
平成24年度特別選抜における実施方法の変更について	

# アドミッション・ポリシー

## 【文学部】

### 教育の理念・目標

文学部は、人間の文化的・社会的営為に関する人類の叡智を継承し、ことばと文学、歴史と文化遺産にかかわる専門領域を深く教育・研究するとともに、現代社会・地域社会が提起する諸課題にこたえるために、知の拠点として、つねに新たな教育・研究領域を開拓することを目指しています。また、そのたえざる探求と教育とをつうじて、幅広い教養を備えるとともに、豊かな人間性と高度な専門性、および総合的な視野を養うことにより、地域文化・地域課題をにない、また国際化社会にも貢献しうる有為な人材を育成することを目指しています。

### 日本・中国文学科

#### ●教育の基本方針

日本の伝統文化の中心であると同時に、広くアジア諸国をはじめとする諸外国の文化を受容しながら発展してきた京都府にあって、日本文学・日本語学・中国文学の三者にわたる幅広い知識を授けるとともに、日本と中国とにわたる豊かな文学的素養を持った人間性を涵養し、それぞれの学問分野における諸課題について自ら問い、自ら考え、そして自ら答える力を身につけた人材、日本ことに京都の伝統文化への理解と、国際化への対応という両面を兼ね備えた人材を育成します。

#### ●求める学生像

- ① 言語や文学に対して強い関心と幅広い視野を持つ人
- ② 人間や社会に対しても幅広く目を向けている人
- ③ 自ら問題を発見し、解決しようとする力を備えている人
- ④ 文献の読解に取り組む粘り強さと、多角的な視点からものごとを見る柔軟さを備えた人

#### ●求める基礎学力

- ① 高等学校での基礎的諸教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民についての十分な学力
- ② 中国文化への関心とともに日本文化を言語や文学などを通して考察できる基礎的な知識と能力
- ③ 自らの問題意識を論理的・客観的に文章化して表現する能力

### 欧米言語文化学科

#### ●教育の基本方針

欧米言語文化、英語学、日英翻訳文化の教育を通じて、イギリス・アメリカ・ドイツ語圏の言語・思考方法・感性のあり方を学びます。また、京都に位置する大学という地の利を活かして日本文化との比較研究を行います。文学をはじめとする言語テキストを分析的に読み解く訓練によって、言葉の力を知り、豊かな感性と想像力を培い、既成の考え方にとらわれず柔軟に思考し自己の考えを表現する能力を養います。さらに、英語、ドイツ語を読む、書く、話す、聞く高度な能力を培います。これらの教育によって、多文化共生の時代に必要な異文化理解と国際的視野を備えた人材を育成します。

#### ●求める学生像

- ① 過去から現代に至る欧米の文化と日本文化に強い関心を持ち、日本語と外国語の優れた言語能力を備えた人
- ② 人間と社会に対する深い関心と多角的な視野を持つ人
- ③ 外国語・日本語を問わず、言葉の仕組み、機能に関心のある人
- ④ 言葉の力や人類が培ってきた様々な思想を理解するための共感能力、柔軟な思考力と問題把握能力を持つ人
- ⑤ 自ら見出した問題を論理的に考え、表現する能力を備えた人

#### ●求める基礎学力

- ① 高等学校での基礎的諸教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民についての十分な学力
- ② 英文を全体的に理解し、文脈をとらえる力
- ③ 英文を的確に理解し、日本語に訳す力
- ④ 正確な英文を書く力
- ⑤ 論理的でわかりやすい日本語の文章を書く力

## 歴史学科

### ●教育の基本方針

歴史的・文化的遺産に恵まれた京都という立地条件を生かして、日本史を中心にしながら、アジア史・西洋史をも含んだ人類の歴史総体を研究・教育の対象とします。そして、過去の事件や人間の営みを正確に把握するうえで必要な、各種の史料の整理・読解や調査能力の習得をはかり、歴史のさまざまな事象を、時代や社会との関係のなかで捉え、評価する視点や方法を鍛えます。さらに、調査・収集した史料にもとづいて新しい歴史像を作り上げる能力を涵養します。

これらの教育を通じて、人類の過去と現在・未来に対する洞察力を養います。

### ●求める学生像

- ① 歴史に対して強い関心を持ち、人類のさまざまな社会的・文化的活動に広く関心を持つ人
- ② 歴史の研究の基礎となる史料や文献の読解に根気強く取り組める人
- ③ 自ら見いだした課題を論理的に把握・整理し、自分の考えを的確に表現できる人
- ④ 人類の様々な文化遺産に対して広く関心を持ち、その保存と活用を通して社会に貢献したい人

### ●求める基礎学力

- ① 高等学校での基礎的諸教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史についての十分な学力
- ② 日本史・世界史・地理について十分な関心と知識を持っていること

## 【公共政策学部】

### 教育の理念・目標

生涯にわたる人間発達を多様に実現する社会（福祉社会）を、個人、NPO、地域コミュニティ、企業、行政などが協働して築くために、より高い政策立案能力や問題発見・解決能力を持った人材、地域における福祉や人間形成の担い手となる人材を育成して行きます。

## 公共政策学科

### ●教育の基本方針

①住民が心ゆたかに暮らせる地域づくりにとって必要かつ有用な法律学、経済学、政治学の理論を修得し、②地域社会がかかえる問題を的確に把握するとともに、それを解決するための政策を立案する能力を養い、③さまざまな個人、NPO、地域コミュニティ、企業、行政など多様な主体が協働して築き上げる「公共政策」のあり方を学びます。

### ●求める学生像

- ① 社会の発展と現代社会の制度・政策的課題の解明に強い関心を持つ人
- ② 人間の発達と政策形成の課題の解明に強い関心を持つ人
- ③ よりよい地域社会を築くために積極的に貢献したいと考える人

### ●求める基礎学力

- ① 高等学校での基礎的諸教科（国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科）のそれぞれについての十分な学力
- ② 社会問題をさまざまな角度・視点から観察し、客観的・科学的に分析する基礎的能力
- ③ ものごとを論理的に考え、自分自身の意見を持ち、それを整理して表現する能力

## 福祉社会学科

### ●教育の基本方針

社会福祉学・社会学・心理学・教育学などの専門分野の教育研究を通して、人々が直面するさまざまな生活問題や福祉ニーズに対応して、人々の生活を支援する方法と実践のあり方を学ぶ（社会福祉コース）とともに、人間の成長・発達や行動・相互作用、そして教育のあり方について科学的な理解を培います（人間形成コース）。

### ●求める学生像

- ① 人間の福祉と社会連帯のあり方に実践的な関心を持つ人
- ② 人間の発達と行動、教育と社会形成の課題の解明に強い関心を持つ人
- ③ 地域と社会の現実的問題の解決に実践的に取り組んでいきたいと考える人

### ●求める基礎学力

- ① 高等学校での基礎的諸教科（国語、数学、外国語、地理歴史、公民、理科）のそれぞれについての十分な学力
- ② 社会問題をさまざまな角度・視点から観察し、客観的・科学的に分析する基礎的能力
- ③ ものごとを論理的に考え、自分自身の意見を持ち、それを整理して表現する能力

## 【生命環境学部】

### 教育の理念・目標

生命環境学部は、「生命」と「環境」を共通のテーマとして、安全な農作物の生産、食環境の向上、生命分子機能の応用、人間生活と住環境および自然環境と情報環境の向上、森林との共生に第一線でたずさわることのできる人材の育成を目標にしています。そのため、「世界に通用する専門能力と技術力」並びに「課題を見いだす洞察力と課題解決の筋道を見いだす能力」を養うとともに、「広い視野と柔軟な思考力」を培う教育を心がけています。

### 生命分子化学科

#### ●教育の基本方針

生命科学の基盤となる「化学」に重点をおいた少数精鋭の教育を行い、分子レベルでの生命現象や生命環境の解明、有機合成やバイオテクノロジーを用いた新規機能分子や有用物質の創成・生産、ナノテクノロジーによる分子センサーや分子デバイスの開発、生態環境における物質の分析・評価など最先端の研究を通じて、広範かつ高度な知識と技術を備えた研究者・技術者の育成を目指します。さらに、それを社会に役立てるため、総合的な視野と柔軟で論理的な思考力を培います。

#### ●求める学生像

- ① 化学をはじめとする理科に強い興味があり、論理的で、自主性と想像力に富んだ、人間性豊かな人
- ② 生命、環境、食料などに関わる科学領域に好奇心が旺盛で、将来、新規な生命分子の構造や機能の解明に関わる基礎研究や、有用な生命化学物質の開発・応用・生産を目指す分野で活躍を希望する人
- ③ 入学後も一層の勉学意欲と向上心を持ち続け、厳しい学力評価に耐えうる心構えのある人

#### ●求める基礎学力

高等学校での基礎的諸教科（国語、数学、理科〔特に化学、物理、生物〕、外国語そして地理歴史、公民）のそれぞれについての十分な学力

### 農学生命科学科

#### ●教育の基本方針

「豊かな環境共生社会の創造—環境に負荷をかけない、安心・安全な食料生産を目指して—」を教育研究の指針として、生物多様性を生かした持続可能な食料生産技術及び生物機能の高度利用、さらにそれらの社会経済的側面を総合的に教育します。具体的には、動植物の新たな機能の開発と効率的な物質生産、作物栽培や家畜飼育に関する新しい技術の開発、作物保護、動物衛生、環境保全・修復、農業経営等についての理解を深め、新しい農学とそれに関連した生命科学分野に対応できる人材の育成を目標に教育します。

#### ●求める学生像

- ① 上記の学問分野における基本的な知識と技術の習得に熱意を持ち、農業並びにその関連産業の発展に広い視野からアプローチするための好奇心と意欲を持つ人
- ② そのために必要な基礎知識があり、自ら積極的に学習しようとする意欲的な人
- ③ 将来、大学院等への進学、地域への貢献や国際的な活躍を志向する人

#### ●求める基礎学力

高等学校で習う教科全般についての十分な基礎学力。特に、理科系科目全般についての十分な知識と理解、および英語の十分な読解力。

### 食保健学科

#### ●教育の基本方針

人々の健康の保持・増進の視点から食物と食生活を取りまく要因を総合的に捉えて、望ましい食生活とライフスタイルのあり方について教育研究を行い、「食」に関する高い見識を持ち、専門的職業における指導的役割を果たす人材や課題解決型の人材を養成します。また、必要な単位を修得することで、栄養士免許、家庭科並びに栄養教諭免許の取得と、管理栄養士の受験資格の取得が可能です。さらに、大学院博士前期・後期課程を備え、より高度な専門教育研究を通して、優秀な人材を国内外に輩出しています。

#### ●求める学生像

- ① 「食」に深い関心を持ち、その課題発見と解決に寄与する意欲のある人
- ② 「食」を通じて、日本と世界の人々の健康の保持・増進に貢献できる人
- ③ 「食」を多面的・総合的に把握しようとする人

#### ●求める基礎学力

- ① 高等学校での基礎的諸教科（国語、数学、理科、外国語そして地理歴史、公民）のそれぞれについての十分な学力
- ② 理科は、理科関連科目（化学と生物を履修していることが望ましく、応用的な理科を主たる内容とした科目も含める）を12単位以上修得していること

## 環境・情報科学科

### ●教育の基本方針

先端科学技術の基礎と応用の教育と研究を行い、人々を取り巻く自然環境、情報環境にわたる諸問題を理解し解決できる『視野の広い理系スペシャリスト』を育成します。そして、「高いプレゼンテーション能力」、「英語力」、「科学技術を生活の向上に生かす能力」を兼ね備えた国際的専門家に育てます。

### ●求める学生像

理系分野で世界に通用する専門家となるためには、まず好奇心と論理的思考能力と表現力が必要です。各理系科目を暗記ではなく理解して、自分の言葉でその内容を語る能力があるかを重要視します。

- ① 柔軟な発想のもとに思考する創造性豊かな人
- ② 社会に役立つ物質の創成、新しい技術の開発に夢を持っている人を、ポテンシャルが高い人と考えています。そして、先端科学技術を人々の生活の向上に生かそうという気概を持つ人を求めます。

### ●求める基礎学力

数学と理科については以下の条件を満たす人を求めます。

- ① 普通科の生徒については、数学Ⅲと数学C、理科12単位以上を修得していること。
- ② 情報科学科の生徒については、数学は数Ⅲ関連科目と数学C関連科目を修得していること。理科は理科関連科目（本来の理科科目の他に情報関連科目などを含める）を12単位以上修得していること。
- ③ 工業高校の生徒については、数学は数学関連科目（本来の数学科目の他に、応用的な数学を主たる内容とした科目も含める）を13単位以上修得していること。理科は理科関連科目（本来の理科科目の他に、応用的な理科を主たる内容とした科目も含める）を12単位以上修得していること。

## 環境デザイン学科

### ●教育の基本方針

広い教養と総合的な判断力を持ちつつ、住居・建築学を基盤とし、人と環境にやさしい生活環境と生活様式を創造できる専門的職業人の養成を主たる目的としています。教育・研究の特長は、1)生活者の視点を重視していること、2)住居、建築、ランドスケープ、プロダクト、アパレル等の分野を含むこと、3)一級建築士受験資格取得が可能な課程であることです。

### ●求める学生像

- ① 地球環境と人類にとって望ましい住居、建築、都市、地域、暮らしのデザインについて、生活者の視点から科学的に追究する意欲のある人
- ② 事柄を総合化して設計し表現する能力を身につける意欲のある人
- ③ 住居・建築に加えてランドスケープ、プロダクト、アパレル等にも関心のある人
- ④ 京都府の自然・歴史・文化・産業および人類と自然の共生について興味のある人

### ●求める基礎学力

高等学校での基礎的な諸教科（国語、数学、理科、外国語、地理歴史、公民など）についての十分な学力

## 森林科学科

### ●教育の基本方針

近年、森林の保全や木質系資源の有効利用が、地球環境問題やエネルギー問題の解決にとってますます重要となってきています。当学科では、多様な森林とそれを構成する生物、森林の持つ木質資源の生産、水資源の涵養、土砂災害の防止、環境保全などの多面的な機能について学ぶことのできる、森林学から林産学にわたる森林科学の幅広い領域をカバーしたカリキュラムを編成しています。講義等で修得した専門知識を、実験・実習などを交えて、実際の森林管理や木質資源の利用にどのように活かすのかを学びます。これらを通じて、専門知識に基づいた科学的能力や高い倫理観を備えた高度な技術者・専門家を育成することを目標としています。

### ●求める学生像

- ① 自然や科学に対する興味と探求心を持ち、森林に関連する諸問題を積極的に学ぼうとする人
- ② 自然を慈しみ、自ら問題点を発掘し、物事を論理的に考え、広く社会の状況を把握できる人
- ③ 森林に関係する分野において、産業の発展、地域貢献、さらに国際的な視野に立った活躍を目指す人

### ●求める基礎学力

高等学校での基礎的な諸教科（数学、理科、外国語、国語、地理歴史、公民など）についての十分な学力

# 平成23年度 京都府立大学特別選抜学生募集要項

## 1. 特別選抜の概要

### 募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員 (人)			合 計
		特別選抜			
		推薦入試		A〇入試	
府内	全国	府内			
文 学 部	日本・中国文学科	6	—	—	6
	欧米言語文化学科	8	—	—	8
	歴史学科	6	—	2	8
	小 計	20	—	2	22
公共政策学部	公共政策学科	10	2	—	12
	福祉社会学科	10	2	—	12
	小 計	20	4	—	24
生命環境学部	生命分子化学科	3	3	—	6
	農学生命科学科	* 7	* 7	—	14
	食保健学科	5	—	2	7
	環境・情報科学科	5	—	—	5
	環境デザイン学科	10	—	—	10
	森林科学科	* 6	3	—	9
	小 計	36	13	2	51
合 計	76	17	4	97	

(注) \*は特別枠1を含む。

### 日 程

	推薦入試の日程	A〇入試の日程
願書受付期間	平成22年11月 1日 (月) ～ 11月 9日 (火)	平成22年 9月14日 (火) ～ 9月24日 (金)
試験実施日	平成22年11月27日 (土)	
合格発表日	平成22年12月10日 (金) 正午	

(注) 合格者発表は、合格者の受験番号を学内に掲示し、併せて可否を出身学校長（A〇入試の場合本人）に通知します。電話等による問い合わせには一切応じられません。

また、本学ホームページ(<http://www.kpu.ac.jp/>)にも、合格者の受験番号を掲載します。

## 2. 推薦入試の出願資格及び選抜方法

### 出願資格（出身学校長の推薦が必要）

(1) 府内

本人及び保護者が京都府内に在住で、かつ、京都府内の高等学校を平成23年3月に卒業見込の者または大学入学資格が付与されている京都府内の専修学校高等課程の学科を平成23年3月修了見込の者であって成績が優秀なもの

※京都府内在住の条件

平成22年4月1日から引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住していること。  
(住民票又は登録原票記載事項証明書で証明できること。)

(2) 全国

高等学校を平成23年3月に卒業見込の者または大学入学資格が付与されている専修学校高等課程の学科を平成23年3月修了見込の者であって成績が優秀なもの

※公共政策学部は、(1) 府内を含まない。 生命環境学部は、(1) 府内を含む。

(3) 特別枠（生命環境学部農学生命科学科の府内枠・全国枠 各1名）

（生命環境学部森林科学科の府内枠 1名）

農業・食品分野（農学生命科学科）、森林・環境分野（森林科学科）の専門教育に関する高等学校（学科）を平成23年3月に卒業見込の者であって、各専門分野をさらに発展させたいというチャレンジ精神を持つもの

(4) その他上記と同等の条件を有すると本学が認めた者（京都府立大学との事前協議が必要）

この場合の資格についての事前協議期間は平成22年9月3日(金)～10月19日(火)

### 選抜方法

学 部	学 科	選 抜 方 法
文 学 部	日本・中国文学科	推薦書、調査書、国語及び英語の試験成績による総合判定
	欧米言語文化学科	
	歴史学科	推薦書、調査書、英語及び小論文の試験成績による総合判定
公共政策学部	公共政策学科	推薦書、調査書及び小論文の試験成績による総合判定
	福祉社会学科	
生命環境学部	生命分子化学科	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合問題（高等学校の英語、理科、数学についての理解力、思考力を見る）の試験成績による総合判定
	農学生命科学科	
	食保健学科	推薦書、調査書、面接及び小論文の試験成績による総合判定
	環境・情報科学科	推薦書、調査書、テーマ作文及び面接の試験成績による総合判定
	環境デザイン学科	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び小論文の試験成績による総合判定
	森林科学科	推薦書、調査書、志望理由書、面接及び総合問題（高等学校の英語、理科、数学についての理解力、思考力を見る）の試験成績による総合判定

### 3. AO入試の出願資格及び選抜方法

学部	学科	出願資格	選抜方法
文学部	歴史学科	① 本人及び保護者が京都府内に在住で、かつ、京都府内の高等学校を平成23年3月に卒業見込の者または大学入学資格が付与されている京都府内の専修学校高等課程の学科を平成23年3月修了見込の者 ② ①と同等の条件を有すると本学が認めた者（京都府立大学との事前協議が必要）	自己推薦書、調査書、レポート、面接及び英語の試験成績による総合判定
生命環境学部	食保健学科	① 本人及び保護者が京都府内に在住で、かつ、京都府内の高等学校を平成23年3月に卒業見込の者または大学入学資格が付与されている京都府内の専修学校高等課程の学科を平成23年3月修了見込の者 ② ①と同等の条件を有すると本学が認めた者（京都府立大学との事前協議が必要）	自己推薦書、調査書、面接及び小論文の試験成績による総合判定

※ 上記の事前協議期間は平成22年8月2日（月）～8月27日（金）

※ 京都府内在住の条件：平成22年4月1日から引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住していること（住民票又は登録原票記載事項証明書で証明できること）。

※ 食保健学科については、出願者が募集人員の5倍（食保健学科10名）を超える場合は、出願書類をもとに予備選考を行うことがある。

食保健学科の予備選考の有無及び結果は、10月25日以降本人宛に通知する。この場合、①予備選考を実施しなかった場合は、受験票を、②予備選考を実施し、合格した場合は、受験票を、③予備選考を実施し、合格しなかった場合は、不合格通知を送付する。

## 4. 推薦入試の推薦条件

学部	学 科	学部学科ごとの推薦の条件	一つの高校が推薦できる人員
文学部	日本・中国文学科	高等学校在学中の国語、地理歴史、公民、外国語の評定平均値の4教科平均が4.0以上で、外国語12単位以上を修得している者	全日制、定時制及び通信制の各課程から各2名以内
	欧米言語文化学科	成績優秀な者 ただし、外国語12単位以上を修得している者	全日制、定時制及び通信制の各課程から各3名以内
	歴史学科	高等学校在学中の国語、地理歴史、公民、外国語の評定平均値の4教科平均が4.0以上で、外国語12単位以上を修得している者	全日制、定時制及び通信制の各課程から各2名以内
公共政策学部	公共政策学科	高等学校在学中の国語、理科、数学、地理歴史、公民、外国語の評定平均値の6教科平均が4.0以上で、外国語12単位以上を修得している者	全日制、定時制及び通信制の各課程から各2名以内
	福祉社会学科		全日制、定時制及び通信制の各課程から各2名以内
生命環境学部	生命分子化学科	成績優秀な者で、化学Ⅰ・化学Ⅱを履修している者	全日制的課程から2名以内、定時制及び通信制の各課程から各1名
	農学生命科学科	成績優秀な者	全日制的課程から2名以内、定時制及び通信制の各課程から各1名
	食保健学科	成績優秀な者 ただし、理科12単位以上を修得している者	全日制、定時制及び通信制の各課程から各2名以内
	環境・情報科学科	成績優秀な者または次の資格検定のいずれかに合格している者で、かつ、数学と理科については以下の条件を満たす者 (検定試験) ・財団法人日本英語検定協会主催実用英語技能検定試験2級以上 ・経済産業省主催基本情報技術者試験  (数学と理科についての条件) ・普通科の生徒については、数学Ⅲと数学C、理科12単位以上を修得していること。 ・情報科学科の生徒については、数学は数学Ⅲ関連科目と数学C関連科目を修得していること。理科は理科関連科目(本来の理科科目の他に情報関連科目なども含める)を12単位以上修得していること。 ・工業高校の生徒については、数学は数学関連科目(本来の数学科目の他に、応用的な数学を主たる内容とした科目も含める)を13単位以上修得していること。理科は理科関連科目(本来の理科科目の他に、応用的な理科を主たる内容とした科目も含める)を12単位以上修得していること。 <理科関連科目、数学関連科目、数学Ⅲ関連科目、数学C関連科目の認定は環境・情報科学科が行う。>	全日制、定時制及び通信制の各課程から各2名以内
	環境デザイン学科	成績優秀な者	全日制、定時制及び通信制の各課程から各2名以内 ただし、建築科については、上記の他に、高等学校建築科の入学定員が40名以内の場合は各課程から各1名、40名を越える場合は全日制的課程から2名以内、定時制の課程から1名の推薦を認める。
	森林科学科	成績優秀な者	全日制的課程から2名以内、定時制及び通信制の各課程から各1名

- (注) ・専門学科出身者で、本学が推薦要件として指定する教科科目を履修していないが、教科科目の読替が可能の場合は、平成22年10月1日(金)までに本学と事前協議してください。  
 (環境・情報科学科を除き、出願者が履修している教科科目について本学が指定する教科科目に該当することが明らかな場合は、それを証明できる書類(履修教科書の出版社と目次がわかるコピー及び授業シラバス等)を出願時、調査書に添付することにより、事前協議に替えることができます。)
- ・修得単位数については、見込みを含む。
  - ・評定平均値については、出願時点での直近の成績による。
  - ・なお、指定教科に係る評定平均値については次のいずれを用いてもよい。  
 (小数点以下第2位を四捨五入)
- ①「指定教科中の各科目の評定値の合計数を、指定教科中の科目の合計数で除した数値」
  - ②「指定教科毎に算出した評定平均値の合計を、指定教科数で除した数値」

## 5. 特別選抜試験 実施試験場及び日時

特別選抜試験(推薦入試・AO入試) 実施試験場 京都府立大学

試験実施日(推薦入試・AO入試) 平成22年11月27日(土)

試験時間							
学部	学 科	推薦入試		AO入試			
		科目	試験時間	科目	試験時間		
文学部	日本・中国文学科	英語	11:00~12:00 (60分)	/			
		国語	13:00~14:30 (90分)				
	欧米言語文化学科	英語	10:30~12:00 (90分)				
		国語	13:00~14:00 (60分)				
	歴史学科	英語	13:00~14:00 (60分)			面接	10:00~12:00
		小論文	14:30~16:00 (90分)			英語	13:00~14:00 (60分)
公共政策学部	公共政策学科	小論文	13:30~16:00(150分)	/			
	福祉社会学科	小論文	13:30~16:00(150分)				
生命環境学部	生命分子化学科	総合問題	10:00~12:00(120分)			/	
		面接	13:30~				
	農学生命科学科	総合問題	10:00~12:00(120分)				
		面接	13:30~				
	食保健学科	小論文	10:00~12:00(120分)	小論文	10:00~12:00(120分)		
		面接	13:30~	面接	13:30~		
	環境・情報科学科	面接	10:00~	/			
	環境デザイン学科	小論文	10:00~12:00(120分)				
		面接	13:30~				
	森林科学科	総合問題	10:00~12:00(120分)				
面接		13:30~					

試験場(室)への携帯品は、受験票・黒鉛筆・鉛筆削り・消しゴム・腕時計(計時機能のみ)に限る。  
 (携帯電話や腕時計は、必ずアラームを解除し、電源を切っておいてください。)

- (推薦入学:注) 歴史学科の英語試験並びに生命分子化学科、農学生命科学科及び森林科学科の総合問題試験については、各自英和辞典1冊(電子辞書は不可)の持ち込みを認めます。
- (AO入試:注) 歴史学科の英語試験については、各自英和辞典1冊(電子辞書は不可)の持ち込みを認めます。

## 6. 特別選抜試験 出願手続

願 書 受 付 期 間		
<b>推薦入試</b>	平成22年11月 1日(月)～ 11月 9日(火)	午後5時まで(必着)
<b>AO入試</b>	平成22年 9月14日(火)～ 9月24日(金)	午後5時まで(必着)

上記出願期間に、以下の出願必要書類及びAO入試学科別出願必要書類(AO入試の場合)を整え、本学所定の封筒を使用して京都府立大学学生部あて、提出してください。

期限後に到着した場合、受付最終日の前日(推薦入試11月8日(月)、AO入試9月23日(木))以前の消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。

推薦入試の場合、出身学校長からまとめて提出していただきますが、出願者数が少ない場合等、志願者本人が提出していただいても差し支えありません。

出 願 必 要 書 類		
種 別	推 薦 入 試	A O 入 試
<b>入 学 願 書</b>	<b>A・B・C票(本学所定のもの)</b> A票右の「記入上の注意」をよく読み、必要事項の記入等を行ってください。C票は切手(320円分)を貼ってください。	<b>A・B・C票(本学所定のもの)</b> A票右の「記入上の注意」をよく読み、必要事項の記入等を行ってください。 歴史学科 <b>C票は切手(320円分)を貼ってください。</b> (B票は記入・切手貼付不要) 食保健学科 <b>B・C票は切手(320円分)を貼ってください。</b>
<b>推 薦 書</b>	本学所定のもので、出身学校長が作成したもの	不要
<b>調 査 書</b>	所定の様式により、出身学校長が作成したもの	
<b>志 望 理 由 書</b>	<b>生命分子化学科、農学生命科学科、環境デザイン学科及び森林科学科のみ</b> 志望動機及び自己PRを本人が所定の用紙に600字程度にまとめたもの	不要  ただし、次表に示す学科別出願必要書類自己推薦書・レポートが必要
<b>テ ー マ 作 文</b>	<b>環境・情報科学科のみ</b> テーマ：わたしが感じる理系の魅力 市販 B5・400字原稿用紙(縦書き・横書き問わず)に、副題、学校名、氏名を記載し、それらを除いて2000字以内で、自筆で書いてください。	/
<b>写 真</b>	上半身・脱帽・正面向きのもの(4cm×3cm)で、出願前3か月以内に単身撮影した写真をA票に貼り付けてください。	
<b>入 学 考 査 料</b>	<b>17,000円</b> (1) 本学所定の「入学考査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。 ① 京都銀行から振り込む場合、手数料無料 ② その他の金融機関から振り込む場合、所定の手数料が必要 ただし、ゆうちょ銀行(郵便局)からは振り込み不可 (2) 金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行(郵便局)の普通為替証書を同封してください(普通為替証書発行には料金420円必要)。普通為替証書の受取人欄等については、記入しないでください。 ● 入学願書受付後は、入学考査料を還付しませんが、AO入試で実施する予備選考により不合格となった場合は、既納の考査料のうち13,000円を還付します。	
次頁に続く		

前頁の続き	
<b>本人の住民票 又は登録原票 記載事項証明 書</b>  <b>住民となった 年月日が記載 してあるもの</b>	<b>【京都府内枠志願者のみ必要】</b> （推薦入試 全国枠志願者は不要）  本人及び保護者が平成22年4月1日以前から引き続いて京都府内に居住していることを市(区)町村長が証明した書類 （役所の窓口で必ず「 <b>住民となった年月日の記載が必要</b> 」と伝え、請求してください。） 本人の住民票等の「 <b>世帯主</b> 」欄には <b>願書に記入した保護者氏名が記載されていることが必要です</b> 。記載されていない場合（世帯主と保護者が異なる場合を含む）は、別途保護者の住民票等提出が必要です。

AO入試 学科別 出願必要書類			
学部	学 科	種 別	内 容
文 学 部	歴史学科	自己推薦書	市販B5版・400字原稿用紙(自筆で書くこと。縦書き・横書きは問わず)に、下記の点に留意して1000字以内にまとめてください。 ① 適性。歴史についてこれまでどのような関わりをもってきたか。(たとえば、自分で調べたこと、読んだ書物、歴史をこれまで学んできた中でアピールしたい点など。) ② 関心。京都府立大学文学部歴史学科で何を学びたいか。
		レポート	市販B5版・400字原稿用紙(自筆で書くこと。縦書き・横書きは問わず。) 課題：歴史上の著名な人物を一人取り上げて、2000字以内で論述してください。 論述に当たっては、①その人物の行ったこと、②後の歴史への影響、③その人物に対する評価、に留意すること。 末尾に、レポート作成に当たって参考にした文献名などを記してください。(2000字には含めない。別紙に記載してもよい。)
生命 環境 学部	食保健学 科	自己推薦書	食保健学科入学の志望動機及び自己推薦理由を市販B5版・400字原稿用紙(縦書き・横書き問わず)5枚(2000字)程度、自筆で書くこと。

## 提出先

〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学 学生部 学務課 入試担当

電話 (075) 703-5144 (直通)

## 7. 特別選抜試験 入学手続等

### 入学手続

合格者は、下記の日時に入学手続を行ってください。

入学手続の詳細及び必要な書類は合格通知とともに学校長（AO入試は本人）に発送します。

学 部	日 時	入学料	学生教育研究災害傷害等保険料
文 学 部	平成23年1月21日(金)	京都府内者 169,200円	4,560円
公共政策学部		上記以外の者 282,000円	5,260円
生命環境学部			

- (注) 1 授業料（年額 **535,800円**）は、口座引き落としにより前期と後期の年2回の分納となります。
- 2 金額は改定される場合があります。
- 3 京都府内者とは、平成22年4月1日から引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住しており、住民票又は登録原票記載事項証明書で証明可能な者。

### 身体に障害等のある入学志願者との事前相談

入学を志願する者で、身体に障害等（学校教育法施行令第22条の3に定める程度、その他これに準じるもの）があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、次の期日までにあらかじめ（推薦入試の場合、学校長を通じ）本学へ連絡し、相談すること。

推薦入試 事前相談期日：平成22年10月 1日（金）まで

AO入試 事前相談期日：平成22年 8月27日（金）まで

### 試験成績の開示について（推薦入試のみ）

下記のとおり推薦入試の成績の開示を行います。

- ①開示請求できる者 推薦入試の不合格者本人
- ②開示の内容 総合判定結果を、合格者の最低ラインを基準に4段階にランキングし、そのランクを開示します。
- ③開示の期間 合格発表日の翌々日から起算して1ヶ月間（土・日・祝日を除く）
- ④開示の方法 京都府立大学学生部に来所の上、受験票等本人であることの確認ができる書類を提示し、請求してください。

なお、本人から出身学校長への委任状とともに出身学校長を通じて文書で開示請求することも出来ます。その場合は開示内容を書面にて高等学校宛に送付いたしますので、本人に開示願います。

### その他注意事項

- 合格者は、特別の理由がない限り入学を辞退することはできません。
- 合格者は、他の国公立大学に出願していても受験することはできません。
- 大学入試センター試験に出願した者は、実際の受験の有無に関わらず、入学手続時に大学入試センター試験受験票が必要ですから大切に保管しておいてください。**
- 生命環境学部 環境・情報科学科では、推薦入試により入学した者については、転学部および転学科を原則として認めません。





## 入学者状況(過去5力年)

区分	年度	募集人員	志願者数A	受験者数B	合格者数C	入学者数D	競争率B/C
文学部	18	100 (23)	699 (93)	597 (92)	142 (27)	111 (27)	4.2 (3.4)
	19	100 (23)	706 (91)	608 (91)	143 (25)	115 (23)	4.3 (3.6)
	20	100 (22)	897 (111)	694 (111)	129 (25)	108 (24)	5.4 (4.4)
	21	100 (22)	722 (94)	549 (94)	126 (25)	109 (24)	4.4 (3.8)
	22	100 (22)	791 (89)	633 (89)	128 (25)	107 (24)	4.9 (3.6)
福祉社会学部	18	70 (18)	270 (50)	203 (49)	80 (19)	75 (19)	2.5 (2.6)
	19	70 (18)	290 (56)	217 (45)	79 (20)	73 (20)	2.7 (2.3)
公共政策学部	20	100 (24)	383 (65)	304 (60)	121 (25)	108 (25)	2.5 (2.4)
	21	100 (24)	397 (76)	298 (70)	124 (25)	107 (25)	2.4 (2.8)
	22	100 (24)	366 (73)	314 (73)	116 (26)	109 (26)	2.7 (2.8)
人間環境学部	18	90 (20)	301 (56)	288 (56)	103 (21)	97 (21)	2.8 (2.7)
	19	90 (20)	275 (71)	270 (71)	102 (23)	102 (23)	2.6 (3.1)
農学部	18	110 (24)	384 (96)	371 (96)	124 (27)	112 (27)	3.0 (3.6)
	19	110 (24)	335 (90)	334 (90)	129 (28)	116 (28)	2.6 (3.2)
生命環境学部	20	204 (51)	759 (193)	732 (192)	237 (54)	221 (54)	3.1 (3.6)
	21	219 (54)	831 (187)	754 (182)	255 (61)	239 (61)	3.0 (3.0)
	22	204 (51)	673 (178)	648 (178)	233 (54)	219 (54)	2.8 (3.3)
合計	18	370 (85)	1654 (295)	1459 (293)	449 (94)	395 (94)	3.2 (3.1)
	19	370 (85)	1606 (308)	1429 (307)	453 (96)	406 (94)	3.2 (3.2)
	20	404 (97)	2039 (369)	1730 (363)	487 (104)	437 (103)	3.6 (3.5)
	21	404 (97)	1892 (342)	1586 (336)	489 (108)	434 (107)	3.2 (3.1)
	22	404 (97)	1830 (340)	1595 (340)	477 (105)	435 (104)	3.3 (3.2)

平成22年度学部・学科別	文学部	日本・中国文学科	30 (6)	223 (20)	184 (20)	38 (6)	34 (6)	4.8 (3.3)
		欧米言語文化学科	30 (8)	247 (44)	194 (44)	41 (11)	31 (10)	4.7 (4.0)
		歴史学科	40 (8)	321 (25)	255 (25)	49 (8)	42 (8)	5.2 (3.1)
	公共政策学部	公共政策学科	50 (12)	208 (39)	172 (39)	61 (14)	57 (14)	2.8 (2.8)
		福祉社会学科	50 (12)	158 (34)	142 (34)	55 (12)	52 (12)	2.6 (2.8)
	生命環境学部	生命分子化学科	31 (6)	136 (30)	129 (30)	41 (7)	36 (7)	3.1 (4.3)
		農学生命科学科	48 (14)	150 (60)	148 (60)	55 (14)	51 (14)	2.7 (4.3)
		食保健学科	25 (7)	78 (33)	78 (33)	26 (7)	26 (7)	3.0 (4.7)
		環境・情報科学科	25 (5)	104 (10)	102 (10)	28 (5)	27 (5)	3.6 (2.0)
		環境デザイン学科	40 (10)	119 (30)	105 (30)	43 (11)	41 (11)	2.4 (2.7)
		森林科学科	35 (9)	86 (15)	86 (15)	40 (10)	38 (10)	2.2 (1.5)

(注) ( )内は、推薦・AO入試を内数で示す。

# 試験場案内

■ 入学試験会場

## 京都府立大学

■ 所在地

京都市左京区下鴨半木町1-5

■ 交通機関

①② JR京都駅・  
阪急烏丸駅から

地下鉄烏丸線「北山」駅下車 1番出口から南へ徒歩10分

③京阪出町柳駅から

市バス 1系統「府立大学前」下車 北へ徒歩5分

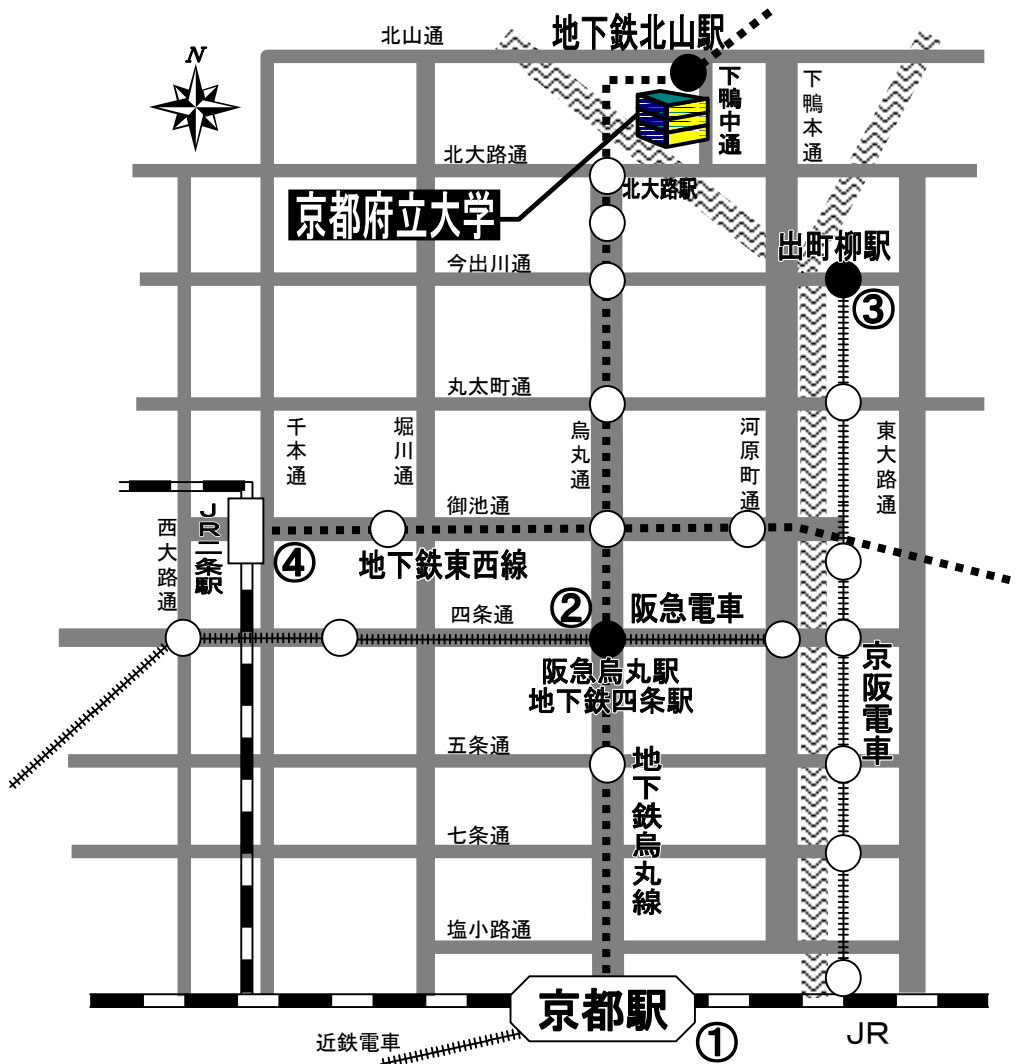
京都バス 32、34、35、37系統「府立大学前」下車 北へ徒歩5分

④ JR二条駅から

市バス 206系統「府立大学前」下車 北へ徒歩5分

地下鉄東西線「烏丸御池」駅下車乗換、烏丸線「北山」駅下車 1番出口から南へ徒歩10分

(注意)  
 ・下鴨中通の正門から入場してください(試験室への案内を掲示)。  
 ・試験場内への二輪車(自転車・バイク)、自動車等の車両の乗り入れはできません。  
 ・昼食は各自持参してください。



## 平成24年度特別選抜における実施方法の変更について

平成24年度特別選抜における実施方法について、下記のとおり変更を予定しています。

### 記

学部・学科名	日程・試験区分	変更内容
文学部 歴史学科	特別選抜 推薦入試 A O 入試	<p>【23年度入試】</p> <p>募集人員 推薦入試 <u>6人</u>（府内） A O 入試 <u>2人</u>（府内）</p> <p>推薦条件 一つの高校が推薦できる人員 各課程から<u>2名以内</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【24年度入試】</p> <p>募集人員 推薦入試 <u>8人</u>（府内） A O 入試 <u>0人</u></p> <p>推薦条件 一つの高校が推薦できる人員 各課程から<u>3名以内</u></p>
生命環境学部 食保健学科	特別選抜 推薦入試 A O 入試	<p>【23年度入試】</p> <p>募集人員 推薦入試 <u>5人</u>（府内） A O 入試 <u>2人</u>（府内）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【24年度入試】</p> <p>募集人員 推薦入試 <u>7人</u>（府内） A O 入試 <u>0人</u></p>



## 京都府立大学学生部学務課入試担当

---

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5  
電話 (075)703-5144(直通)